

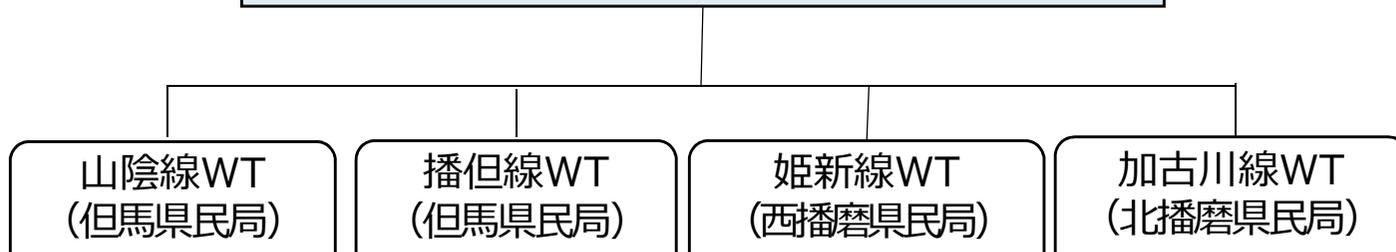
趣旨

地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠くことのできない**鉄路を維持**するため、沿線地域の実情・課題を踏まえ、**駅周辺の活性化**や**観光（DC・万博等）と連携**した利用促進策等を官民連携で検討

協議会の全体構成

協議会で検討の方向性を示し、**路線毎に設置するワーキングチーム（WT）**において、地域の事情を踏まえた利用促進策を検討（WTの検討結果は協議会で集約）

JRローカル線維持・利用促進検討協議会



※WTは協議会の構成員を参考に、県民局等で組織。必要に応じて他府県の沿線自治体等に参加を依頼。

※（ ）内は事務局。
播但線及び姫新線には中播磨県民C、
加古川線には丹波県民局が参加。

R 4 年度 協議会・WT スケジュール

協議会	W T	時期	内容
第1回		6月	現状把握、意見聴取（有識者）、検討の方向性・進め方
	第1回	7月	現状把握、課題の抽出、検討の方向性
	第2回	9月	鉄道の必要性・地域の意見集約、利用促進策の検討
	第3回	11月	検討結果の取りまとめ
第2回		12月	WTの検討結果の集約、県としての取組方策の検討
第3回		1月	令和5年度予算、検討結果のとりまとめ